

練習交渉

早々に負けてしまった

日本チームには基本的に行う事がありません。

各選手・我々スタッフも序盤は混乱しました。あとのこの時間をいったい何に使ったら良いのだろうか？

日本選手団が頑張っているのに、我々だけ遊ぶのは絶対におかしい、かといって応援だけでもデフリンピック遠征に協力してくださった方々に申し訳ない、かといって試合を見るだけでもそれで良いのか？という気持ちになる。

そこで、我々は「試合の終わっている選手を見つけて練習をお願いする。」という使命を選手に持たせました。トーナメントでは32人参加しても戦う人はごくわずか。これでは世界の選手のレベルを知る機会は勝ち続けるしか方法がなくなります。しかし、実力が無ければそれも無理です。1回戦負けは32ドローであれば16人いるはずですから、自分を除いた15人に声をかけて練習をお願いすれば時々OKを出す選手が出てくるはず。2回戦で負ければ23人。3回戦では27人。と練習できる確率はドンドン上がります。

お願いすることは勇気がいることでしょう。

しかし、自分が強くなる為には必要なことですし、応援してくださった皆様に少しでも何かを伝えるには、実際に体感し・日本にいる今後日本の代表となって出場する選手の為に架け橋を作っておくことです。

反省会

みんな一緒に

試合が早い段階で終わってしまった事がショックだったので、反省会は落ち着いてからと言うことになり3日間空けての反省会となりました。

試合の内容はどうだったのか？

試合の感想はどう思ったのか？

今後、日本をより強くするためには何が必要なのか？

今の選手には何を求められているのか？

負けをただの負けにするのか、次へのステップに変えるのは、この反省からだと思います。

負けた理由を考えて長期的な部分から短期的な部分へと必要な事を考えていかなければなりません。

反省と言うものは

悪かった事を言い合うだけではなく、その悪かった部分をどの様にして良くするかを考える場所です。

悪かった事を言い続けるのであればそれは、ただの悪口です。

今回はダメだったけど・・・という部分が必要です。

そしてその次は

その良くなるであろう方法を実行するのです。

今回で言えば世界に対応する能力を持ち合わせていたなっかこと。

その対応策として

世界の選手と数多く練習することで世界のボールを肌で体感しておくこと。

となります。